

7月30日 AM7:00、曇天下、松本市民をはじめとする剣岳登山参加者23名は、最終集合場所黒部アルペンルート発着地、扇沢に集合。バス、ロープウェイ、ケーブルカーを乗り継ぎ、AM9:00 霧雨煙る室堂ターミナルに到着。ここで京都からの参加者2名と合流し、総勢25名となり、準備を整え、岩の殿堂剣岳2999mを目指して出発する。



雨の雷鳥沢を行く



群落するハクサンイチゲ



剣御前山腹の雪渓を横切る

室堂から雨降る雷鳥沢に一旦下降し、2時間程で大日岳との分岐、新室堂乗越を經由し、花咲く尾根道をジグザグに登る。一時激しい雨が登山道を小川のように流れ落ちる。PM12:30、別山乗越に登り出る。ここから剣御前山腹の雪渓を横切り、PM2:30 剣岳登山の最前線に建つ剣山荘に到着する。



AM5:00 剣山荘を出発



前剣から望む剣岳本峰二九九九m



カニのタテバイを登攀する

翌31日早朝、雲間に青空が覗く天候。AM5:00、25名全員身支度を整え、東に連なる後立山連峰の稜線から昇る朝陽を拝し、いざ出発する。30分程で一服剣を経て、小1時間で高々とそそり立つ前剣を乗り越え、剣岳本峰へ向う。

前剣からは、急峻な岩場が連続する。要所に取り付けられた鎖を頼りに、僅かな岩の凹凸に足場を確保し、手がかりを確認して、登り続ける。最大の難所、高度差15m以上の垂直岩壁カニのタテバイを攀じ登り、しばらく岩稜線を登りつめるとAM8:45岩峰の頂、剣岳山頂2999mに全員見事に登頂する。「バンザーイ!」「おめでとう!」握手を交わし、互いの健闘を讃え合う。



剣岳山頂に見事登頂バンザーイ!



絶壁カニのヨコバイを下降する



チシマギキョウ



チングルマ

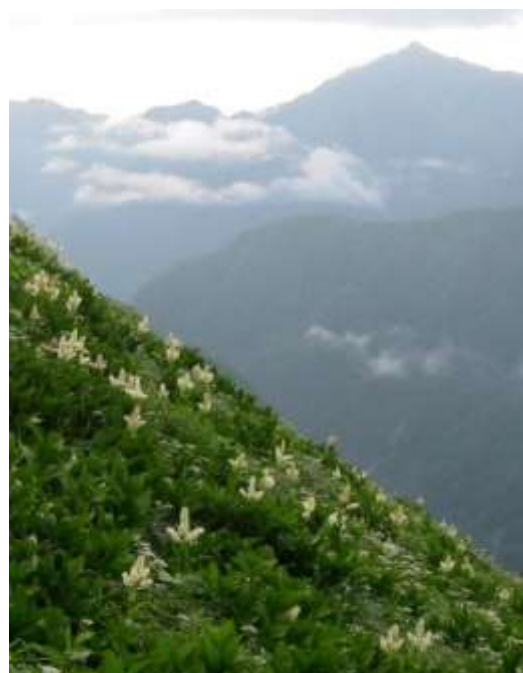
山頂で 30 分程の至福の時を経て、下山開始。絶壁のカニのヨコバイも難なく降下し、その後の下山は、往路とほぼ同じルートを下降する。AM11:30 一服剣付近で雨が降り始める。PM12:00 剣山荘に到着。山荘内で温かいカレー昼食を摂り下山を急ぐ。PM2:10 別山乗越、下山途中から激しい雨の中、急ぎ歩いて PM4:15 室堂ターミナルに到着する。



前剣から望む剣岳本峰 2999m



最大の難所、カニのタテバイを登攀する。



群落するコバイケイソウと鹿島槍ヶ岳

PM4:30 長野方面行黒部アルペンルート最終バスに乗車し、PM5:50 扇沢到着。ここで自由解散とするが、松本方面の参加者は、車に乗り合わせ PM6:55 県松本合同庁舎駐車場に到着し、最終解散とした。

「不安定な天候の中、勇気と情熱を頼りに、剣岳岩峰の登頂を挑んだ参加者の皆様に、心から拍手と敬意を表したい。」登山だった。

MHC 登山講習責任者 MHC 理事長 鈴木雅則